

二宮町子ども・子育て支援事業計画(素案)に対する町民意見募集結果

資料1

1 実施期間

平成26年12月26日(金)～平成27年1月15日(木)

2 募集概要

二宮町の子育て施策を総合的・計画的に推進するための5か年計画である「二宮町子ども・子育て支援事業計画(素案)」がまとまりましたので、計画策定過程で町民の皆様のご意見を反映させた計画づくりとするため、計画素案を公表し、町民意見を募集しました。

3 計画素案の閲覧方法

(1) 閲覧用資料の窓口設置 : 5か所

① 役場内子ども育成課 ② 百合が丘子育てサロン ③ 栄通り子育てサロン ④ 生涯学習センター(ラディアン) ⑤ 保健センター

(2) 町ホームページに掲載

4 意見の提出方法

所定の意見提出用紙に必要な事項である計画素案の意見項目(該当ページ等も含めて)・氏名・住所・連絡先(電話番号、メールアドレス等)を記入して、次のいずれかの方法で意見を提出。

① 子ども育成課窓口へ直接(夜間休日受付ボックス投函を含む) ② 郵送 ③ ファックス ④ メール

5 意見を提出できる人

町内在住・在勤・在学の人

6 意見提出状況

意見人数 16人 提出件数 30件

意見提出内訳

① 子ども育成課窓口へ直接 7件 (うち夜間休日受付ボックス投函 0件) ② 郵送 0件 ③ ファックス 0件 ④ メール 23件

ご意見のうち、内容の趣旨が類似するものは統合させていただいたほか、原文を分割して掲載している場合がありますので、ご了承ください。また、件数については、1人につき1事業に対していただいたご意見を1件としています。

7 ご意見の取扱い

計画素案どおり 29件 計画素案の修正 1件

ご意見に対する個人への直接の回答はしませんが、ご意見に対する町の考え方を町ホームページで公表します。

8 二宮町子ども・子育て支援事業計画(素案)に対する町民意見の概要と町の考え方

No	項目	町民意見の概要	町の考え方	対応区分
1	施設(駐車場)	雨の日でも小学生が室内で自由に遊べる駐車場付き施設が欲しい。	今後の施設のあり方については、子育てに配慮したものとなるよう検討してまいります。 なお、現在のところ一色小学校の閉校についての計画はございません。	計画素案どおり
2	施設(一色小の再利用)	一色小学校が閉校になった場合は、校庭の半分を駐車場にして、子ども達が友情の山で自由に遊べるようにして欲しい。		
3	施設(保育園)	町立保育園の建替えや保育定員の増員をお願いしたい。		
4	施設(整備)	サロン内では大きな子どもが遊べないため、砂遊びなど安心して遊べる施設の整備ができれば、さらに良くなると思う。		
5	公園(ゴミ箱)	ゴミの散乱が酷いので、公園にゴミ箱を設置して欲しい。	出したゴミを持ち帰ることは公園利用の原則ですが、公園にごみ箱を設置した場合、家庭ごみを投入されたり、ごみ箱ごと燃やされるなど防犯上の問題となるケースがございます。 そのため、新規にごみ箱を設置する予定はございません。	計画素案どおり
6	公園(樹木管理)	子供と遊べる広い公園がほしい。家の裏の公園の樹木が高くなりすぎていて、午前中の陽当たりが悪いので低く切って欲しい。	既存の公園等については、地域の人口構成に配慮しながら、遊具の適切な更新や維持・管理に努めるとともに、公園の統廃合や適切な機能分担により再編を図ってまいります。	計画素案どおり
7	公園(整備)	52ページにある「安全で安心な公園・緑地の整備」を積極的にお願いしたい。		
8		夏も遊べる大きな公園が欲しい。		
9	施設(駐車場)	駐車場のない子育て施設は利用しづらいので、駐車場付きの施設が必要。また、子育て講座等があるときに保健センターの駐車場に駐車できないことがあるので、職員の車を別の場所に駐車できないか。	今後の施設のあり方については、子育てに配慮したものとなるよう検討してまいります。 また、庁用車につきましては駐車場が満車の場合には、別のスペースへ移動させております。 なお、職員個人の通勤車両の乗入れは禁止されております。	計画素案どおり
10	要望対応	多くの人からの要望があつてから整備するのではなく、少ない意見であっても必要としている人がいるのであれば、それらの充実をお願いしたい。	ご意見のとおり、少数意見であった場合においても、優先順位をつけて検討してまいります。	計画素案どおり

No	項目	町民意見の概要	町の考え方	対応区分
11	新生児赤ちゃん訪問	新生児訪問は助産師が足りないためか、2ヶ月位に来る時がある。 第1子を育てる人にとって、生まれて1ヶ月位に訪問してくれた方が、子育てのポイントを早く教えてもらえて心強いと思うし、そうすることで虐待も減らすことができると思う。	現状では出産病院等による1ヵ月健診後～2ヵ月くらいに、里帰り出産後ではそれ以降の訪問となりますが、第1子の優先訪問や、個別事情等にも配慮し対応してまいります。	計画素案どおり
12	特定不妊治療助成	地域の子育て支援の充実の強化など、意欲的になされていると理解してはいるが、近隣の市町村では掲げられている少子化対策としての特定不妊治療助成事業が、二宮町では実施されていないことを大変残念に思う。 不妊治療(体外受精)は1回40～50万の多額な費用がかかり、経済的負担が大きく、婚姻年齢平均30歳を超え、晩婚化といわれている現代には必要な対策だと思う。 不妊に悩んでいる夫婦が安心して治療に挑める環境を！	神奈川県特定不妊治療助成事業があるため、現在町では、県助成金に対する上乗せ助成は行っておりません。 経済的な負担軽減に向けた助成金の上乗せにつきましては、ご意見を踏まえまして、今後の検討課題とさせていただきます。 また、今後も不妊に関する情報提供や気軽に相談が受けられるような体制の整備に取り組んでまいります。	計画素案どおり
13	学童(時間)	現在学童保育を利用しているが、私も夫も退勤して6時までに迎えに行ける日がなく、ほぼ毎回延長料金が発生している。 通勤時間も入れると6時までの学童保育は無理のある時間設定と考える。 育児休暇中に知り合ったお母さん方は、もっと社会に出ていけばどんなに日本が豊かになることかと痛感するほど賢い方が多く、日本の不調な経済を、この眠っているあまりある才能を有効利用して打開していく方法はないものかと思う。 女性の社会進出の推進に向けて、子どもは社会で育てるという視点に立った改善を求める。	国が策定した「放課後子ども総合プラン」に基づいて進めてまいります。また、「子どもは社会全体で育てる」という視点に立って、保護者や保護者会の負担軽減などに配慮しながら、放課後児童健全育成事業(学童保育)の運営を検討してまいります。	計画素案どおり
14	学童(保護者負担)	学童保育では金銭面だけでなく、運営に関する事など保護者の負担が大きく、その軽減を是非とも実現して欲しい。		
15	学童(保護者負担)	70ページ「(11)放課後児童健全育成事業(学童保育)」について保護者会ではなく、町が運営してほしい。		

No	項目	町民意見の概要	町の考え方	対応区分
16	放課後児童健全育成事業 (世代間交流)	<p>少子化で近所で遊ぶ友達にも苦勞する時代の中で、地域の愛情を自然に望むことができ、安全が確保されるような環境を町や自治体が整えることは大変重要なことだと思う。</p> <p>放課後に学校や空き教室を有効利用して、大人が介入しないという時間も貴重で、遊びの中で得られるものは大きい。</p> <p>「仕事をしていないので学童には入れられないけれど、近所で遊ぶ友達もあまりいないので入れたい」と言う人もいる。</p> <p>また、お金のかかる整備ではなく、例えば二宮の元気なシニア世代にも協力を求め、異世代間の交流も実現できればとても魅力的になる。</p> <p>地域のシニア世代に勉強を見てもらったりと、年に数回のイベントではなく、定期的に行うものも重要だと思う。</p> <p>家庭の役割は大きく、子どもの生きる力の元となるが、家庭を支える地域がどれだけ充実しているか、それが子育てしやすい町ということなのだと思う。</p>	<p>国が策定した「放課後子ども総合プラン」に基づいて、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動ができるよう、放課後児童健全育成事業と放課後子ども教室との連携に向けて、検討をまいります。</p> <p>また、地域の元気なシニア世代の人材活用につきましては、世代交流事業の1つの手法として参考にさせていただきます。</p>	計画素案どおり
17	公園等遊び方教室ボランティア	<p>公園での遊び方教室について、ボランティアに定期的に指導や見守りをお願いできないか。</p> <p>町内の公園内で子供同士がベンチに座り、お互いにゲーム機の画面を見ながら会話をしている姿を頻繁に見かける一方で、高齢者が季節の遊びを子供たちに教えてゲーム遊びを自粛させている公園もある。</p> <p>地区社協が活発な二宮町では元気な高齢者が沢山いるので、例えば「公園遊びコーディネーター」等として「遊び方」を1ヶ月に1回でも各地区の公園等で行って欲しい。</p> <p>そのようにすれば、遊具の大切さ、子供同士のコミュニケーションから親同士のコミュニケーションに発展して、子供たちが成人した時に「地元では色々な遊びを教えてもらえて楽しかったし、子育てがしやすいさうだから戻っても良いかもしれない」と思ってくれるはずだ。</p>	<p>計画書の51ページの「3 地域とともにある教育環境づくり」の「2 地域教育力の向上」の「世代間交流事業の充実」や「地域間交流事業の充実」の中で、そのような事業計画の位置づけをしております。</p> <p>また、子どもの育ちに関わるボランティアや地域の元気なシニア世代の人材活用につきましては、世代間交流事業の1つの手法として参考にさせていただきます。</p> <p>なお、学童保育(放課後児童健全育成事業)や放課後子ども教室においては、自然と触れ合いながらの遊びについての情報提供など、子どもの心身の健全な育成のために必要な知識、技能の修得・維持ができるよう、放課後児童支援員等の研修会や情報交換会を通じて、放課後児童支援員の資質の向上に努めてまいります。</p>	計画素案どおり
18	遊び	<p>二宮町全体で「自然と遊ぶ」ことに積極的に取り組んで欲しい。年に何度か、町全体を使って遊べる「野山を使ってひたすら遊ぶイベント」を企画してはどうか。</p> <p>また、その遊び場は「子どもが自分の考えで行動し、自分の思いを表現できる場所」にして、大きく見守るだけの大人のリーダーが数人いればいいと思う。</p> <p>外でできるアート活動もやってみたい。</p>		
19	遊びリーダー	<p>遊び場でリーダーになる大人は、自然活動家のような人からレクチャーを受けたりしてはどうか。</p>		

No	項目	町民意見の概要	町の考え方	対応区分
20	保育所入所	47ページにある「2 ひとり親家庭の自立支援」の「保育所入所の優先的措置」ですが、私は「65歳未満の専業主婦と同居だと保育園に入所できない。」といわれ絶句した。保育園に入所希望のひとり親家庭には、こういったルールを軽減して欲しい。	現行の保育の必要性の認定基準では、「65歳未満の同居親族が保育できる場合」の除外要件がございましたが、新制度においてはその要件が除外されております。(ただし、同居親族が保育できる場合には、利用の優先度が調整される場合がございます。) 今後も子育てをしている全ての家庭が安心して地域で子育てができるよう、支援をまいります。	計画素案どおり
21	母子・共働き家庭への教育・保育事業の充実	冊末のアンケート結果を読む限り、子育てに大きな問題を抱えている世帯はそれほど多くは無いように読めるが、「母子家庭」や「旗日も両親ともに出勤する世帯」を重点的に支援するために、柔軟な教育・保育事業に注力するべきではないか。	ご意見のとおり、本計画は子育てをめぐるさまざまな問題の解決と地域の実情に合った子育て支援環境の一層の充実を目指し、子育て支援事業を計画的に実現するために策定する計画でございますので、地域のニーズに即した事業の取組みに注力してまいります。	計画素案どおり
22	就労環境整備	子育て世代が二宮町への転入を躊躇するのは、町内ないし近隣に母親の働き口がないためだと思う。母親向けの就労環境の整備ができれば子育て世帯の二宮町への流入は進むと思う。	本計画では、「子育てと仕事の両立の推進」をするため、再就職や起業に必要な情報をさまざまな角度から提供することを掲げております。	計画素案どおり
23	二宮の歴史、自然、生活文化、郷土食を体験学習する場	基本理念に「みんながつながり自然とふれあいながら子育てができる町」とあるが、この計画の中に二宮の歴史、自然、生活文化、郷土食を体験学習する場が盛り込まれていないように思う。幼児期や学校教育、課外学習に取り入れて欲しい。 また、どんど焼きなどの季節行事へ参加する親子連れが増えているように思うので、これらが自然や食と結びついていることを知る機会として、季節行事も計画に取り込んで欲しい。	計画書の44ページの「3 食育の推進」や51ページの「3 地域とともにある教育環境づくり」の中で、そのような場の位置づけをしておりますが、町の歴史・自然・文化における体験学習に重きを置くため、「3 地域とともにある教育環境づくり」の【施策の方向】の中で、「身近な地域でのイベントや交流など二宮の歴史、自然、文化を体験学習できるようなさまざまな活動により、地域における教育環境の充実を図ります。」と追加の部分修正をいたします。	計画素案の修正

No	項目	町民意見の概要	町の考え方	対応区分
24	団体を活用した体系立てカリキュラム化とその支援	<p>当会では、夏休みに小学生親子みかんの青摘み体験新聞づくりを行い、青摘み、その料理、新聞づくりを行っている。みかみを摘果することも、二宮の特産がみかんであることさえ知らない親子が多い。生き生きとした体験を通すことで、子どもたちが作成する新聞のレベルも高く、非常に好評を得ている。</p> <p>その縁で昨年二宮小学校3年生に「二宮の魅力」テーマに授業を行い、生徒にも先生にも好評だった。町内には様々な活動をしている団体があるので、一過性ではなく、体系立てカリキュラム化して欲しい。</p> <p>子ども・子育て支援団体の育成のためにも、助成制度などの情報提供や町内で子ども・子育て支援活動をしている団体の活動を把握する仕掛けを計画に位置付けて欲しい。</p> <p>当会は、「子ども若者育成・子ども支援功労者」表彰を受けたことのある団体だが、今年度も「季節行事と郷土食の再生」をテーマに文化庁の親子伝統文化事業に申請したが、町からの情報提供や取材が一切なかった。</p>	<p>計画書の51ページの「3 地域とともにある教育環境づくり」の「2 地域教育力の向上」の「関係団体の連携」の中で、「地域における子ども体験・学習を推進している団体との連携を深め、その活動を支援します。」と計画に位置付けております。</p>	計画素案どおり
25	地産地消	<p>地域の食材を学校給食に取り入れるだけでなく、自分たちで育てた野菜を料理して食べる機会を作ってください。</p>	<p>地産地消等については44ページの「3 食育の推進」の「2 学校等における食育の推進」の中でそのような機会の位置づけをしております。</p>	計画素案どおり
26	青少年のまちづくり	<p>青少年がまちづくりに関わると、地域の人たちの感謝や対等なかかわりで自信を養い思いがけない資質を見いだし、かなり成長する。青少年と活動団体を引き合わせる機会を盛り込んで欲しい。</p>	<p>青少年のまちづくりについては51ページの「3 地域とともにある教育環境づくり」の「2 地域教育力の向上」の中でそのような機会の位置づけをしております。</p>	計画素案どおり
27	コミュニティ大学構想	<p>海士町では、「隠岐国学習センター」という地域の公営塾が設立され、地域の子どもの自己実現を地域総がかりで支援する新しいモデル作りをはじめている。このような取り組みは、二宮にはふさわしいと思う。</p> <p>計画にぜひ二宮ならではのモデル事業「町内全体が体験の場、インターシッパの場となるように産業、地域活動、季節行事など結びつけてカリキュラム化したコミュニティ大学構想」を取り入れて欲しい。</p>	<p>地域の子どもの自己実現を地域総がかりで支援するものとして、計画書55ページの「2 若い世代の自立・就業支援」の中で「キャリア教育の推進」として位置づけをしております。</p> <p>子どもから大人まで、誰もがいつでも自由に学習することができ、その成果が適切に評価されるような生涯学習社会の実現を目指し、地域や企業、関係団体等との連携を図りながら検討してまいります。</p>	計画素案どおり

No	項目	町民意見の概要	町の考え方	対応区分
28	小児医療費助成の所得制限	<p>小児医療費控除の所得制限をなくしてほしい。子供が持病のため、月に数回通院している。医療証のある子は歯科検診も無料なのに、ない子は入院も外来も小学生からは助成がないという現状に不満を感じている。いくら公園や学童など整備されても、利用できる人は一部で、不公平感が増すばかりだ。</p> <p>小児医療に関する他の自治体の取り組みを参考にしながら、いろいろな方法も含め、ぜひ検討して欲しい。</p> <p>なお、小児医療費助成の所得制限は家庭内所得の合算審査であればいいが、一方の所得のみを審査制限の対象とするのであれば、やはり不公平だ。</p>	<p>小児医療費助成制度については、子育て支援の観点から、充実に向け検討してまいります。</p>	計画素案どおり
29	子どもお年寄り応援マップ	<p>自宅近くにサロンがあり、小さいうち(6か月)から利用しているが、母子ともにリフレッシュでき、とても助かっている。近くの公園や広場がわからないので、二宮町内の公園・広場マップみたいな物があるか知りたい。</p>	<p>公園や広場などについて記載されている「子どもお年寄り応援マップ」は役場のほか、図書館、保健センター、町民センター、子育てサロン(百合が丘、栄通り)で配布しています。また、町ホームページからもダウンロードできますので、ぜひ、ご活用ください。</p> <p>なお、相談や悩み事などがございましたら、サロンスタッフや子ども育成課へお気軽にお問い合わせください。</p>	計画素案どおり
30	子育てサロン	<p>ハイハイする以前から遊びに行けるサロンがあつて助かっている。町内のママやその他の地域の方とのふれ合いもできて有難い。育児に関しての知識や経験もなかったので、色々な話が聞けるサロンはとても参考になる。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組みに活かしてまいります。</p>	計画素案どおり